

[成果情報名] 鶏舎における漆喰と廃材を用いた簡易なネズミ侵入防止対策の効果

[要約] 鶏舎内へネズミが侵入することでウイルス等の病原菌が持ち込まれる可能性が高まるが、漆喰や廃材を用いた簡易なネズミ侵入防止対策は、1000羽程度規模の鶏舎では1人で低コストに7時間以内に行うことができ、ネズミの捕獲数も大きく減少できる。

[キーワード] ネズミ、低コスト、簡易、侵入防止対策

[担当] 長崎県農林技術開発センター・畜産研究部門・中小家畜・環境研究室

[連絡先] (代表) 0957-68-1135

[区分] 畜産

[分類] 指導

[作成年度] 2018年度

[背景・ねらい]

近年の養鶏業界は高病原性鳥インフルエンザの脅威に晒されている。鶏舎内へのネズミの侵入は、ウイルス等の病原菌が持ち込まれる原因になる可能性があり、侵入防止対策として鶏舎の屋根の隙間または壁面の破損箇所を修繕する必要があるが、コストや作業時間の面で十分な対策を実施できない場合がある。

そこで、漆喰や廃材を用いたネズミ侵入防止対策を実施し、その効果について明らかにすることを本研究の目的とする。

[成果の内容・特徴]

1. 漆喰と廃材を用いることで、既存の鶏舎（1000羽程度）におけるネズミ侵入防止対策は1万円以下の低コストで行うことができ、1人作業で労働時間は7時間以下である（図1、図2、表1）。
2. 漆喰と廃材を用いた簡易なネズミ侵入防止対策をすることで、鶏舎内のネズミの捕獲数は減少する（表2）。

[成果の活用面・留意点]

1. 本成果は低コスト・簡易なネズミ侵入防止対策の技術として活用できる。
2. ネズミの侵入があった場合に備え、殺鼠剤や粘着剤の設置も必要である。
3. 鶏舎のオールアウト時に市販のネズミ忌避剤（燻煙タイプ）を併用することで、侵入防止対策はより効果的になる。

[具体的データ]



漆喰塗装前



漆喰塗装後

図1 漆喰塗装によるネズミ侵入防止対策の状況

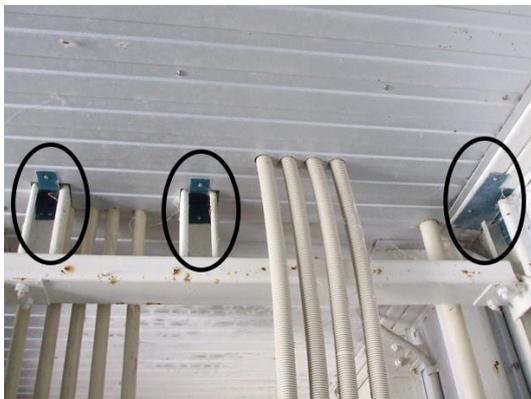


表1. ネズミ侵入防止対策にかかるコスト試算

鶏舎	敷地面積 (m ²)	作業時間 (時間) ¹⁾	労務費 (円/日) ²⁾	材料費 (円) ³⁾	計 (円)
育すう舎(1200羽規模)	126	6	4,650	3,000	7,650
セミウインドレス舎(1000羽規模)	144	6.85	5,309	3,430	8,739

1)作業は1人で行うものとして算出

2)長崎県労務費(軽作業:6200円/日)より

3)材料費は漆喰の購入費用

図2 廃材を用いたネズミ侵入防止対策の状況

表2. セミウインドレス鶏舎におけるネズミ侵入防止対策の実施による捕獲数の推移

年別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2016年	1	1	1	17	6	30	19	0	0	0	0	0	75
2017年	1	1	0	2	5	2	0	1	0	0	0	1	13
2017年ネズミ侵入防止対策施行時期				←—————→									
2018年	0 ¹⁾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

1)2018年1月16日に鶏舎内にトレイルカメラを設置して、ネズミが生息していないことを確認した。

[その他]

研究課題名：地域未利用資源活用による特殊卵生産技術の開発

予算区分：県単

研究期間：2016～2019 年度

研究担当者：松永 将伍、高木 英恵、西山 倫、宇土 力（畜産技術員）